

春 告 草

第 117 号 平成 30 年 9 月 12 日 進路指導部発行

主要大学説明会に行ってきた！

8月21日、毎年恒例の「主要大学説明会」が行われた。東京大学が主催する説明会で、東京会場では国公立大25校と私立大10校が参加した。各大学で行われたオープンキャンパスに出かけた人も多いと思うが、これは主要国公私立が一堂に会して行われる大学説明会である。施設見学や模擬授業は無いが、多くの大学のパンフレットや募集要項をまとめて入手できる機会なので人気は高く、来場者も多い。本校生徒も会場で見かけた。今年で14回目の開催で、年々開催規模が拡大され、数年前から東京ビッグサイトに会場を移した。当日の様子をレポートする。

まず、この説明会の主催者である東京大学より基調講演が行われた。講演者は東京大学理事・副学長の福田裕穂氏。昨年に引き続き2年連続の登壇である。専門は植物生理学の先生だが、グローバル展開が要求される産業界の話題も引き合いに出し、世界の中で日本がおかれている企業や学術的な立ち位置などを説明され、力のある若き研究者に育ってきてももらいたいと来場した高校生に声をかけていた。後半はご自身の研究事例を上げながら、研究者としての生き方についてお話をされた。これから大学を目指し、何か専門を極めていこうと志向する人にとっては大いに刺激を受けた講演であったと感じた。説明会は3会場に分かれて、14の大学説明会がプログラムに従って行われた。1大学当たり35分の限られた時間で、説明ポイントも大学により様々だったが、概要は知ることができた。

また、相談ブースでは各大学の入試担当、教員、在校生が質問にきた生徒に丁寧に対応していて、本校生徒も利用していた。大学関係者に直接聞いたことで、収穫も多かっただろう。今年参加できなかった人は、来年出かけてみてはどうだろう。

参加大学

東京大学
茨城大学
筑波大学
宇都宮大学
埼玉大学
千葉大学
東京医科歯科大学
東京外国語大学
東京海洋大学
東京工業大学
お茶の水女子大学
電気通信大学
一橋大学
横浜国立大学
新潟大学
長岡技術科学大学
金沢大学
名古屋大学
京都大学
大阪大学
神戸大学
九州大学
首都大学東京
横浜市立大学
中央大学
東京理科大学
法政大学
明治大学
立教大学
早稲田大学
同志社大学
立命館大学
関西大学
関西学院大学

東京大学

大学院農学研究科 宮下 直 教授

■沿革など 1877年創設。帝國大學、東京帝國大學を経て、東京大学となった。学部学生数14,071名、大学院生14,239名に対し、教員数は5,900名。科研費も多く配分されている。大学院へは他大学からの入学も多い。(注、「東京大学ビジョン2020」が2015年に公表されている。)

■教育 カリキュラムの特徴の一つが、Late Specialization。類別に学生を募集し、3年次より全部で10の学部へ所属を振り分ける「進学選択制度」を取り入れている。教養を徹底的に鍛えて専門課程に進むという方針に基づくもので、研究者としての教養は英語以上に身につけておくべきことだという。文→理、理→文への進学も可能で、文三から医学部へ進学した学生もいる。前期課程2年間で様々な分野の最先端研究に接し自身の適性も見極めた上で、後期課程の高度な専門教育に進んでいる。

入学後は次に掲げる様々なプログラム、システムにより、学生の自主学習、体験活動をサポートしている。

- ・FLYプログラム(初年次長期自主活動プログラム Fresher's Leave Year Program)
- ・初年次ゼミナール
- ・グローバルリーダー育成プログラム(GLP)
- ・トライリンガルプログラム(TLP)

■入試 平成30年度入試より、理科三類で個別試験に面接試験（10分/1人）を導入した。今後も継続させる。

・変更点 理科三類第1段階選抜の予告倍率を約4.0倍→約3.5倍

推薦入試 農学部^いの推薦要件から「生物履修」を削除

女子学生の構成比は19.5%だが、将来的には30%を目指している。女子の入学を期待している。

・9月23日(日)に「女子高生のための説明会」を開催

■東大に入学する価値

- ・教養教育の幅広い知識と専門教育の深い知識
- ・多様で優秀な友人と恵まれた教育環境
- ・卒業生のネットワーク

九州大学

アドミッションセンター 佐藤喜一 教授

■九州大学の魅力

- ・国立大規模総合大学 12の学部と18の大学院を設置する研究大学。1911年設立の九州帝国大学が前身。
- ・少人数教育 学部生11,746名、院生6,961名、教員2,057名で教員一人あたりの学生数は9.1名。
- ・広大なキャンパス 伊都^{いと}キャンパス、病院キャンパス、大橋キャンパスの3か所。
伊都キャンパスは東西3.1km、南北2.5kmで筑波大よりも広い
- ・潤沢な研究費 科研費は56億円（1,908件）で5位。上位7大学は旧帝大である。
- ・基幹教育 主体的な学びへの切り替え

基幹教育セミナー 自らの学びについて考え、7分のパワポにまとめる

課題協学科目 他学部の人と協力して課題解決に取り組む

- ・国際交流 学部・大学院合わせて、9人に1人は留学経験あり。留学支援体制も整っていて、留学生の2人に1人は経済的支援を受けている。外国からの留学生は急増。

■国際コース 平成30年度より、文、教育、理の各学部^いに国際コースを設置した。

選抜方法は学部毎に異なる。（※AO21世紀プログラム入試は平成30年度入試から廃止された）

大阪大学

豊田岐聡 副学長

■沿革など 前身である大阪帝国大学の創設は1931年だが、創基は懐徳塾(1724年)と適塾(1838年)である。2007年には大阪外国語大を統合し、11学部、16研究科を擁する研究型総合大学として「地域に生き世界に伸びる」をモットーに発展してきた。太陽電池、自動改札システム、リウマチ治療薬（インターロイキン）、八木アンテナ、フューズドアレイ気象レーダーなどは、大阪大学における研究が実用化されたものである。特に医学界では、「免疫の阪大」と言われるほど、臨床研究での評価は高い。

学生数は15,250人で国立大学では最大、大学院生は8,054人である。学部における女子学生の占有率は34.2%で、女子学生の占有率が高い。キャンパスは豊中、吹田、箕面の3か所だが、箕面キャンパスは元大阪外国語大の敷地であり、2021年春には移転の予定である。

■教育 教養、国際性、デザイン力、高度な専門性と深い学識の4項目を重視。来年度からは全学共通教育科目として「学問への扉」（通称マチカネゼミ）を新たに開始する。※マチカネ…「枕草子」にも登場する待兼山は豊中キャンパスの北西部に位置する標高77.3mの小高い丘。西側から上る道は「阪大坂^{はんだいざか}」と言われている。

自主研究の奨励…サイエンスインカレでの受賞者も輩出

■入試 AO、推薦枠を拡大（300名→360名）

- ・変更点 工学部A・B方式を廃止し、従来のA方式に1本化
薬学部6年制・4年制を統合し、6年制とする

京都大学

■沿革など 創基は1869年、大阪に開校した^{せいみきよく}舎密局。第三高等中学校時代の1889年に京都へ移転し、1897年京都帝國大學が創設された。京都帝大創設から121年、21万人の卒業生を送り出し、現在は大学院生も含めて23,000人の学生と5,500人の教員からなる。キャンパスは吉田キャンパスがメインで、3回生以上が利用する桂キャンパスと研究所が集まる宇治キャンパスの3カ所がある。

■学風など 自由の学風が昔からの伝統。自重自敬、自立独立、自得自発を踏まえた活動を学生には期待している。10の学部と16の研究科、2つの専門職大学院をもち、9名のノーベル賞受賞者を輩出している総合研究大学である。

■入試 今年度より、一般入試出願はネット出願。紙媒体の入試要項の配布はなくなり、すべてwebからダウンロードして入手する。

特色入試は4年目の選抜を終えたが、出願条件も緩和され、志願者も増えて定着してきている。来年度から、文学部では第一次選考を行うことになった。その他、経済学部、農学部資源生物科学科、同食品生物科学科で変更がある。

■MOOC ^{ムーフ}大規模公開オンライン講義（Massive Open Online Courses）で山際総長の講義が聴講できる。

■京都の魅力 多くの文化財に囲まれた環境の中で過ごす京都時間。一方、世界的な企業の本社が所在する都市で体験する産学連携。また、京都市の人口は約150万人に対し、市内に通う大学生は約15万人である。大学の街京都で過ごす学生時代。

■WINDOW構想

W WILD AND WISE 未知の世界に挑戦できる実践の場として、野性的で賢い学生を育成する。

I INTERNATIONAL AND INNOVATIVE 研究の国際化を一層推進し、イノベーションの創出を図る。

N NATURAL AND NOBLE 自然に親しみ、学び、高い品格と高潔な態度を身に付けられる学びの場を作る。

D DIVERSE AND DYNAMIC 多様な言語や考え方を受け入れ、悠久の歴史の中に自分を正しく位置づける落ち着いた学問の場を提供する。

O ORIGINAL AND OPTIMISTIC 失敗や批判を恐れず、それを糧にして異なる考えを取り入れて目標達成に導くような能力を涵養する。

W WOMEN AND WISH 男女共同参画推進アクション・プランに基づき明るい希望を持てる環境を整備します

■おもしろい京大 京大の大学案内のいたるところに「おもしろい」が連発されています。冊子13ページにわたり各教員の研究テーマが一覧で紹介されていますが、このような体裁の編集は他大学にはないところです。京大っぽさが出ている大学案内です。

※名古屋大の説明会にも参加したが、紙面の都合で省略します。前号に記事を載せてありますので、そちらを参考にしてください。

高校での学びから、大学での学びへのシフトチェンジ

今回の説明会では5つの大学の説明会を聞いた。説明された先生は大学院の教授だったり、アドミッションセンターの職員の方だったり肩書は様々で、説明の仕方も色々だった。けれども共通して、「教わる」から「学ぶ」へ勉強の仕方を切り替えることを受験生に訴えていた。

高校(まで)の学習スタイルから大学(から)の学習スタイルに切り替えよ。HowからWhat・Whyへ、学習のギアをチェンジしろ。正解がある世界から、正解がない世界へ飛び出さないといけない。「生徒」から「学生」への質的な変貌を遂げよ…等々ということだった。

春告草第109号で紹介した永田和弘京大名誉教授も著書「知の体力」の中で次のように書かれている。

「問いがあって答えがないという、それまでに経験したことのない宙づり状態に耐える知性。答えがないということを前提に、なんとか自分なりの答えを見つけようとする意志。それにめざめさせるのが、大学の4年間であり、その責務である。誰かに尋ねれば、必ず答えがあるはずだ、与えてくれるはずだという依存症から脱却する必要がある。」

高校生から大学生へ。生徒から学生へ。逞しく成長を刻んでいってください。

センター出願が始まる！センター試験まで129日

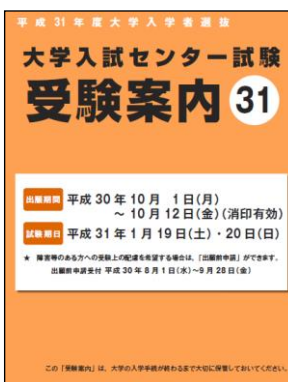
来年度のセンター試験出願が間もなく始まる（出願期間は平成30年10月1日（火）～10月12日（金））。『高等学校』（特別支援学校の高等部を含む）又は「中等教育学校」を平成31年3月に卒業見込みの者』は在籍している学校で取りまとめた一括出願となる。

6年生に対しては9月5日に「出願説明会」を開き、志願票への記入の仕方など、出願手続きを説明した。受験案内は国公立大学、センター試験を行う私立大学の各窓口で配布している。4年生、5年生で自分の受験に備えて予め調べておきたい場合は入手しておくとうまいだろう。また、大学入試センターのHPでも受験案内本文はダウンロードできるので、家庭でプリントも可能である。配付されているものは、受験案内の他に検定料振込票、志願票、個人送付用封筒や出願手続きについて簡単にまとめた説明プリントなどがセットされている。送付用封筒は既卒生や大学入学資格検定合格者が使用するものだ。

今後の手続きは下記の通りである。6年生の皆さんは十分に承知していることと思うが、4年生、5年生向けに掲載しておく。

志願者	学 校	大学入試センター
検定料等払込み 9/3～10/12(ATM 不可) 出願 下書きの提出 ～9/18 原本の提出 ～9/25	志願票の 点検・集約	出願受付 10/1～10/12 ※10/12 消印有効
登録内容の確認 ※登録内容に訂正がある場合は所定の訂正届を提出	確認はがきの 受け取り 集 約	確認はがき（出願受理通知）の送付 10/29 までに到着 受付 ～11/6
登録内容の再確認 受験票・写真票に写真を貼付 試験場を確認	受験票等の 受け取りと 配付	受験票等の送付 ※12/17 までに到着
センター試験受験 平成 31 年 1 月 19 日・20 日	8日(火)が始業式で、翌週末にセンター。昨年度に比べれば日程的な余裕はある。	大学入試センター試験 本試験実施 正解等の発表 1/19・20 平均点等の中間発表 1/23 予定 得点調整実施の有無などの発表 1/25 予定 追試験実施 平成 30 年 1 月 26 日・27 日 平均点等の最終発表 2/7 予定 成績通知書の送付 4/16 以降 ※希望者のみ

21 日(月)は登校して、自己採点。データリサーチ返却は 25 日(金)を予定。その後国公立大出願について再検討。



■中学受験以来、6年ぶりとなる「受験」。当時は保護者任せだった手続きも、自分でできることは極力自分で行おう。出願票の記入ミスには性別のマークミスも。息子の代わりに母親が願書を記入したことによるミスとか…。振込票への金融機関印漏れも稀にある。こちらのミスではないが、一つ一つの確認がこういった手続き時には大切だ。昨年の説明会後には志願票の落し物が1点見つかり、一昨年には受験票の紛失も2件起きた。くれぐれも、うっかりミスの無いように…。

写真中央は、平成31年度大学入試センター試験「受験案内」表紙。 国公立大、センター利用試験を実施している私立大で配布している。本校からは、杏林大が便利？